

令和2年度 徳島県立文書館協議会

日 時： 令和2年11月27日（金）
午後2時から

場 所： 徳島県立文書館 2階 講座室

1 開 会

2 館長挨拶

3 委員紹介・職員紹介

4 会長・副会長 選任

5 議 事

（1） 令和元年度事業実績について

（2） 令和2年度事業計画について

（3） 「徳島県公文書管理条例（仮）」について

（4） その他

6 閉 会

座 席 表

傍
聴
席

法制文書課 酒 井 主査兼係長	法制文書課 高 瀬 課 長	二十一世紀館 総務担当 新 原 主 任	嵐 主 任
-----------------------	---------------------	------------------------------	----------

金 原 課 長	三月田 副館長	石 尾 館 長	徳 野 主 席
------------	------------	------------	------------

入口

	西本 委員
	田中 委員
松山 委員	須藤 委員
原田 委員	清水 委員

副 会 長 (モートン 委員)	会 長 (衣川 委員)
--------------------	----------------

令和元年度徳島県立文書館事業実績

1 来館者数		(文書館)	(文化の森全館)
平成	2年度 (5ヵ月)	17,540人	603,937人
	3年度	27,333人	792,842人
	4年度	19,297人	713,075人
	5年度	17,856人	667,901人
	6年度	19,825人	647,249人
	7年度	35,078人	792,915人
	8年度	19,593人	713,750人
	9年度	19,796人	698,616人
	10年度	23,316人	723,267人
	11年度	26,705人	765,982人
	12年度	45,300人	767,760人
	13年度	26,263人	751,851人
	14年度	25,625人	868,366人
	15年度	27,436人	865,498人
	16年度	33,056人	924,444人
	17年度	39,454人	860,037人
	18年度	35,089人	827,699人
	19年度	24,215人	878,639人
	20年度	27,171人	762,403人
	21年度	25,851人	837,371人
	22年度	32,948人	792,349人
	23年度	25,183人	759,956人
	24年度	27,516人	703,187人
	25年度	29,133人	669,282人
	26年度	36,221人	709,798人
	27年度	36,397人	792,122人
	28年度	43,816人	937,116人
	29年度	40,364人	814,816人
	30年度	41,612人	861,121人
31・令和元年度		46,969人	877,922人
	累計	895,964人	23,381,884人

2 企画展示事業

(1) 前年度よりの残事業

第57回企画展「新収蔵の古写真 ーふりかえる昭和の徳島」

平成31年1月29日～4月21日 (18日)

入館者数 1,606人<4月2日より4月21日まで>

(2) 令和元年度の企画展

① 文書館の逸品展「阿波の干拓新田 ー新田絵図を中心にー」

平成31年4月23日(火)～8月4日(日)

入館者数 7,969人

② 第58回企画展「阿波へ異国船がやってきた」

令和元年8月6日(火)～10月27日(日)

入館者数 6,644人

③ 第59回企画展「富岡の豪商 吹田家」

令和元年10月29日(火)～令和2年1月26日(日)

入館者数 5,966人

- ④ **文書館の逸品展「公文書に見る徳島の風水害」**
令和2年1月28日（火）～4月26日（日）
入館者数 4,929人（3月末まで）

(3) 共催展示

- ① **「藍の資料展 文書と写真で見る藍の寝床」**
令和元年7月2日～7月31日
徳島県立二十一世紀館との共催
二十一世紀館1階情報プラザにてケース展示
- ② **「戦時下の徳島県民 -昭和19・20年の資料を中心に-」**
令和元年9月4日～12月13日
徳島県立二十一世紀館との共催
二十一世紀館2階U字型展示ケースにて展示
- ③ **「江戸・明治期のガイドブック『名所図会』の世界」**
令和元年12月14日～令和2年2月26日
徳島県立二十一世紀館との共催
二十一世紀館2階U字型展示ケースにて展示

(4) 出張展示

- ① **「山の産業 -歴史資料に見る木頭の産業-」**
令和元年8月17日～9月26日
那賀町教育委員会との共催
木頭文化会館において開催
入館者数 2,441人
- ② **「里帰り展 美馬の古文書・古写真」**
令和元年11月22日～令和2年1月15日
美馬市教育委員会との共催
美馬市地域交流センター ミライズにて開催
入館者数 2,096人

(5) 小展示

「令和元年度 古文書補修ボランティアの活動 進む満石家文書の補修」
令和元年6月22日～8月2日

3 教育普及事業

(1) 郷土の歴史や文化に関する講座を開催し、県民に生涯教育の場を提供した。

【古文書講座】

ア **古文書講座（初級）** 参加者延べ 387人

令和元年5月11日～9月28日 第2・4土曜日

計10回を開催し、館所蔵の史料を利用して、古文書等の基礎的知識の取得及び
解読能力の向上をはかった。

講座内容と講師

- ①開講式 入門講座
②和本を読む（カナ文字と言ひ回し） - 「阿波名所図会」を読む1 -
③和本・書軸を読む（文字に慣れる） - 「阿波名所図会」を読む2 -
④⑤江戸時代の文体に慣れる1・2 - 徳島の古文書を読む会刊行の史料集を読む -
⑥⑦古文書の文字に慣れる1・2 - 地域に残る古文書を読む -
⑧⑨古文書の辞書を使う1・2 - 証文・切手を読む -
⑩書簡を読む 閉講式

以上、金原祐樹・嵐大二郎が担当

イ **古文書講座（中級）** 参加者延べ 166人

令和元年10月19日～12月14日 隔週土曜日

計5回開催し、徳島県下の史料等を利用して古文書を「より深く知りたい」「歴史への扉を開きたい」という人々の要望に応えた。

講座内容と講師

- ①「“ほうじょう”を読む」 徳島県立文書館主任主事 嵐大二郎
- ②「徳島藩藻風呂湯治文書を読む」 徳島県立文書館主任専門員 大塚智子
- ③「長谷寺文書を読む」 徳島県立文書館文化推進員 西本沙知子
- ④「阿波人が見た幕末の激動」 徳島県立文書館館長 徳野隆
- ⑤「富岡の本陣御用ー吹田家文書よりー」 徳島県立文書館課長 金原祐樹

【文書館歴史講演会】 令和元年9月7日 参加者 161人

演題 「阿波人が見た日豪交流の原点ー文政12年牟岐浦異国船漂着事件ー」

講師 歴史研究者 ニック・ラッセル氏

【展示解説】

企画展・資料紹介展の展示講演会・展示解説を開催することによって、展示内容や時代背景などをより深く知りたいという人々の要望に応えた。

- ①第57回企画展「新収蔵の古写真ーふりかえる昭和の徳島」展示解説③
令和元年4月19日 参加者 14人
- ②文書館の逸品展「阿波の干拓新田ー新田絵図を中心にー」展示解説①
令和元年5月12日 参加者 12人
- ③文書館の逸品展「阿波の干拓新田ー新田絵図を中心にー」展示解説②
令和元年6月7日 参加者 3人
- ④文書館の逸品展「阿波の干拓新田ー新田絵図を中心にー」展示解説③
令和元年7月20日 参加者 16人
- ⑤第58回企画展「阿波へ異国船がやってきた」展示解説①
令和元年8月28日 参加者 15人
- ⑥第58回企画展「阿波へ異国船がやってきた」展示解説②
令和元年9月13日 参加者 15人
- ⑦第58回企画展「阿波へ異国船がやってきた」展示解説③
令和元年10月5日 参加者 18人
- ⑧第59回企画展「富岡の豪商 吹田家」展示解説①
令和元年11月8日 参加者 10人
- ⑨第59回企画展「富岡の豪商 吹田家」展示解説②
令和元年12月21日 参加者 21人
- ⑩第59回企画展「富岡の豪商 吹田家」展示解説③
令和2年1月11日 参加者 18人
- ⑪文書館の逸品展「公文書に見る徳島の風水害」展示解説①
令和2年2月15日 参加者 7人

【教員のための文書館活用講座】 令和元年8月9日 受講者1人

県内の中学校社会科・高校地歴科教員を対象に、文書館資料を地域史学習の教材として活用するヒントやノウハウを伝えた。

【その他の教育普及事業】

①**文書館ウィーク**

中国四国地区の各文書館（公文書館）では、公文書館法施行の記念日である6月1日からの一週間を「文書館（アーカイブズ）ウィーク」として、各種イベントを開催している。今年度、当館では「阿波の新田絵図を語る」「企画展展示解説」「古文書なんでも相談会」を実施した。

②**文化の森子どもの日フェスティバル**

令和元年5月5日 参加者 282人
「文書館クエスト」「歴史パズル」などを実施した。

③文化の森サマーフェスティバル

令和元年8月18日 参加者 392人

「阿波和紙でうちわ作りに挑戦」「牛乳パックで紙すきに挑戦」「くずし字クイズ
古文書仮面からの挑戦状」「歴史パズル」などを実施した。

④文化の森大秋祭り！！

令和元年11月3日 参加者 177人

「牛乳パックで紙すきに挑戦」「歴史パズル」「ぬりえ」などを実施した。

⑤文化の森ウィンターフェスティバル

令和2年2月11日 参加者 315人

「歴史パズル」「ぬりえ」ワークショップ「古写真で昭和の徳島を語ろう」などを実施した。

※②～⑤は文化の森6館共催事業

(2) 文書資料保存に携わる職員等や民間の古文書所蔵者を対象に、資料保存に関する知識を提供した。

【古文書保存講座】 令和元年7月30日・31日 参加者延べ 29人
記録遺産としての古文書の保存と活用を図るための講座を開催した。

講座内容と講師

第一日

①古文書保存の保存・利用の理論と実際	徳島県立文書館課長	金原祐樹
②歴史資料の保存の科学	徳島県立博物館主任学芸員	岡本治代
③徳島県立博物館収蔵庫等保存施設の見学	徳島県立博物館主任学芸員	岡本治代

第二日

古文書の補修 ー理論・実習ー	前宮内庁書陵部修補師長	横山謙次
----------------	-------------	------

【公文書管理・保存講座】 令和2年2月26日 参加者 10人

公文書の保存と活用の重要性に関する講座を開催した。

講座内容と講師

①徳島県立文書館における公文書保存管理の実際	徳島県立文書館課長	金原祐樹
②香川県立文書館と公文書管理条例 ー市町村での運用も含めてー	香川県立文書館主任専門職員	嶋田典人

(3) ボランティア活動

【古文書補修ボランティア・同養成講座】

毎月2回(第1・第3水曜日) 参加者毎回10数人程度

文書館収蔵古文書の補修を行った。

(4) 文書館活動の内容や研究成果を発表・報告した。

①「文書館年報」第21号(今年度より当館ホームページ上のみの閲覧に移行)		
② 図録「阿波の干拓新田 ー新田絵図を中心にー」	平成31年	4月23日刊行
③ 図録「阿波へ異国船がやってきた」	令和元年	8月6日刊行
④ 図録「富岡の豪商 吹田家」	令和元年	10月29日刊行
⑤ 図録文書館の逸品展「公文書に見る徳島の風水害」	令和2年	1月28日刊行
⑥「文書館だより」41号	令和2年	3月29日刊行

4 調査研究事業

(1) 文書館所蔵資料の整理・保存・研究を行うとともに、県内外に所在する古文書や公文書など貴重な歴史資料の調査・収集、市町村所蔵史料の整理支援を進めた。

資料調査・収集先

・岡田家(那賀郡)	・井上家(徳島市)	・一宮家(徳島市)
・山川地域総合センター(吉野川市)		・徳島県立新野高校(阿南市)

(2) 県内資料の所在調査及び情報収集を円滑に行うため資料調査員をおき、情報収集に努めた。年1回おこなう資料調査員会議は、新型コロナウイルス感染拡大のため実施せず。

(3) 文書館関係の情報交換及び研修をはかった。

- ①全国歴史資料保存利用機関連絡協議会総会（学習院創立百周年記念会館） 1名参加
 - ②全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会総会（京都府立京都学・歴彩館） 1名参加
 - ③全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第151回例会（京都府立京都学・歴彩館） 1名参加
 - ④徳島県博物館協議会総会（徳島県立文学書道館） 1名参加
 - ⑤全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第152回例会（滋賀県庁） 1名参加
 - ⑥全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第153回例会（天理大学附属図書館） 1名参加
 - ⑦徳島県博物館協議会研修会（阿南市科学センター） 1名参加
 - ⑧中国・四国地区文書館等職員連絡会議（香川県立文書館） 1名参加
 - ⑨第45回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会（長野県安曇野市：豊科公民館） 2名参加
 - ⑩全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第154回例会（尼崎市総合文化センター） 2名参加
- (4) 全国公文書館長会議（東京都） 1名参加

5 資料収集整理

古文書・公文書及び行政資料など歴史的文化的価値のある資・史料を広く収集するとともに、整理保存を行い、閲覧等の利用に供した。

(1) 整理状況

区分	R2年3月末現在	
公文書	25,146冊	
行政資料	刊行物	78,943冊
	複製本	176冊
	マイクロフィルム	1,033リール
	マイクロフィッシュ	870枚
	光ディスク	20枚
	その他	166点
	小計	81,208点
古文書	文書	209,815点
	複製絵図	400枚
	マイクロフィルム	2,628リール
	小計	212,843点
その他	図書	10,795冊
	写真	13,576枚
	小計	24,371点
合計	343,568点	

(2) 令和元年度寄贈・寄託資料
 ・岡田家文書（37箱） ・田村家文書（4箱） ・城東中学校所蔵文書（7箱）

(3) 令和元年度公開古文書
 吹田家文書（10,099点）

- 6 文書館への来館研修等
徳島大学教員・学生（博物館概論）
那賀町商工会女性部驚敷支部（館内見学）
鳴門教育大学教員・学生（資料調査）
ひのみね支援学校教員・生徒（校外学習）
八万中学校生徒（インターンシップ）
城東高校生徒（インターンシップ）
徳島大学学生（インターンシップ）
広島大学学生（インターンシップ）
高知県立歴史民俗資料館職員（資料貸出・資料返却）
阿南市文化協会役員（資料閲覧）
城北高校生徒（資料閲覧）
徳島県文化財活用課職員（資料閲覧）
- 7 各講座への出講・出前授業
阿波晩茶製造技術調査委員会（徳野）
徳島県新規採用職員研修（金原）
市町村新規採用職員研修（金原）
城ノ内中学校（徳野）
城東高校（徳野）
シルバー大学院（徳野・金原）
鴨島小学校（徳野）
シルバー大学校（徳野・金原）
徳島県立総合大学校まなびーあ徳島（金原）
第36回歴史地震研究会公開講演会（金原）
渋野小学校（嵐）
あわ江戸学講座（徳野）
すずらん読書会（徳野）
海陽町古文書の読み方講座（徳野・金原）
三大学学芸員資格取得講座（徳野・金原）

令和2年度 徳島県立文書館事業計画及び実績

令和2年度当初予算額	5,538千円
令和元年度当初予算額	21,467千円

- 1 一般管理費 1,102千円（前年度 1,102千円）
文書館協議会の開催、各種機器の保守点検の実施等、館全体の管理運営を行う。
- 2 企画展示事業 587千円（前年度 587千円）
 - (1) 企画展・文書館の逸品展
徳島県の歴史や文化に関するテーマについての展示を、約3ヵ月を会期として年4回開催する。展示ごとに図録を作成し、郷土の歴史や文化に対する県民への発信をおこなっている。
 - ① 文書館の逸品展「阿波の引き札Ⅱ -三舟家コレクション-」
令和2年4月28日～8月2日
引き札は、明治から大正期に流行した、商店の広告。個人商店のものが多いため、街ごとの商業の様子を知ることができる。故・三舟哲治氏は、徳島県内を中心に引き札を精力的に収集し、残された。その1,000点を超えるコレクションの中から、歴史的に興味深いものや印象的なものを紹介する。
 - ② 第60回企画展「藍を作り、藍を売る -阿波の主産業・藍-」
令和2年8月4日～10月25日
江戸時代後期の阿波国にとって藍作は産業の柱だった。そこには独特な生産の仕組みがあり、日本全国に広がる販売網があった。しかし、産業としての全貌は明らかではない。藍に関するいくつかの素朴な疑問の解消に、文書館所蔵の資料等を用いてチャレンジする。
 - ③ 第61回企画展「文化の森の30年」
令和2年10月27日～令和3年1月24日
文化の森総合公園は令和2年11月3日に30周年を迎える。園内にある図書館・博物館・近代美術館・文書館・二十一世紀館・鳥居龍蔵記念館の6施設は、これまでさまざまな文化活動を発信してきた。建設前から現在に至るまでの歩みを、当館が収蔵する公文書や写真、各館のポスターやチラシから、文化の森の30年を振り返る。
 - ④ 特別企画展「史料に見る自然災害」
令和2年1月26日～4月25日
古文書や公文書などの歴史資料は、徳島を襲ったなまなましい自然災害の実態を伝えてくれる。それぞれの被害状況や復興までの過程、当時の人々の思いなどを史料から明らかにする。
 - (2) 出張展示
例年、収蔵資料を県内の各地で展示・紹介する取組をおこなっているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施できていない。
 - (3) 小展示
当館2階休憩コーナーにおいて、年間2～3回ほど小規模展示をおこなっているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大への対応等のため実施できていない。

(4) **共催展示** (予定を含む)
他機関との共催で、文書館の収蔵資料を展示・紹介する。

① **文化の森開園30周年記念共同企画展**

「文化遺産を後世に伝える -とくしまデジタルアーカイブ-」

- ・令和2年11月3日～11月15日
- ・園内6施設(図書館・博物館・近代美術館・二十一世紀館・鳥居龍蔵記念館・文書館)並びに徳島県建設技術センターとの共催
- ・徳島県立近代美術館ギャラリーにて開催

② **「文化の森人権啓発展」**

- ・令和2年12月9日～12月15日
- ・徳島県立二十一世紀館・県内各教育委員会との共催
- ・近代美術館ギャラリーにて開催

3 教育普及事業 579千円(前年度 579千円)

(1) 郷土の歴史や文化に関する講座を開催し、県民に生涯学習の場を提供する。

① **古文書講座**

令和2年6月～令和3年1月 初級10回・中級6回 計16回

館所蔵の史資料を利用し、古文書等の基礎的知識の取得および解読能力の向上を図る。

② **文書館歴史講演会**

特別企画展「歴史資料に見る自然災害」会期中に、倉地克直氏(岡山大学名誉教授)による災害史に関する講演会を実施予定。

③ **展示解説**

企画展・逸品展の期間中に3回実施。展示内容や、時代背景などについて解説をおこなう。

(2) 文書資料保存に関する知識を伝える。

① **古文書保存講座**

市町村の古文書保存担当者や古文書所有者等を対象に、古文書の保存に関する研修を開催し、歴史資料保存のための知識を普及する取組であるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で講師を招くことができなかつたため実施せず。

② **古文書補修ボランティア養成講座**

毎月第1・第3水曜日

補修ボランティアとしての活動を希望する方を対象とした養成講座。

③ **公文書管理・保存講座**

令和3年2月頃

県及び市町村の担当者を対象に、公文書等の文書資料の保存について研修を行う。

(3) 教育機関との連携をはかる。

① **教員のための文書館活用講座**

中学校・高等学校の社会科・地歴科教員を対象に、文書館資料の授業への活用について解説する取組であるが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施せず。

② **出前授業**

③ **校外学習・インターンシップの受入**

今年度は未だ実施なし。

④ **学生ボランティアの受入**

今年度は未だ実施なし。

⑤ **学芸員養成科目・シルバー大学校・シルバー大学院への出講 等**

(4) 文書館の活動をアピールする。

① **文書館ウィーク**

中国・四国地区の各文書館・公文書館では、公文書館法施行の記念日である6月1日からの1週間を「文書館（アーカイブズ）ウィーク」として、各種イベントを開催している。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、当館では実施時期を8月に延期した。戦後75年ということもあり、8月13日から4日間、二十一世紀館ミニシアターにて「ナトコフィルム」の上映会をおこなった。

② **文化の森こどもの日フェスティバル**

緊急事態宣言の全国拡大に伴う臨時休館のため実施せず。

③ **文化の森サマーフェスティバル**

新型コロナウイルス感染拡大のため実施せず。

④ **文化の森大秋祭り！！**

園内全体でのフェスティバルとしては実施しなかったが、当館においては令和2年11月3日に「歴史パズルに挑戦」「ぬりえ」「くずし字クイズ 古文書仮面からの挑戦状！」を実施。

⑤ **文化の森ウィンターフェスティバル**

園内全体でのフェスティバルとしては実施せず。
館内のイベントの実施について検討中。

(5) ボランティア活動

古文書補修ボランティア

毎月第1・第3水曜日
文書館資料の補修を行う。

(6) **徳島の古文書を読む会**

平成3年、当館主催の古文書講座の修了生によって、「徳島の古文書を読む会」が結成された。現在約90名の会員が7班に分かれ、月例会において古文書解読を行なっている。また、県内外の各種機関がもつ歴史資料に触れる臨地見学会や、県内の他の古文書解読サークルとの合同学習会も実施している。総会の際には講演会も行っている。平成16年からは史料集の作成に着手し、現在14冊を刊行している。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため4月・5月の例会は休止し、6月より再開。

(7) 「年報」「文書館だより」「研究紀要」等を作成する。

4 調査研究事業 990千円（前年度 990千円）

① 文書館所蔵資料の整理・保存・研究を行うとともに、県内外に所在する公文書や古文書など貴重な歴史資料の調査・収集を進め、その成果として資料目録作成や研究紀要等の刊行を行う。

② 県内資料の所在調査および情報収集を円滑に行うため、資料調査員を置く。

③ 各種研修会等に参加し、文書館職員としての知識や技術を習得する。

④ 他府県の県史編さん状況を調査する。

⑤ 市町村の公文書を中心とした資料調査を行う。

⑥ 県内大学や研究機関等との連携による資料整理を行う。

- 5 資料収集整理事業 2, 280千円（前年度 18, 209千円）
- ①公文書，古文書など歴史的文化的価値のある資料を広く収集すると共に，整理・保存事業を行い，閲覧等の利用に供する。
 - ②歴史資料のうち現物の収集ができないものは，デジタル撮影等による複写や，複製物を作成して収集を図る。
- 6 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協） 調査・研究委員会
昨年度より全史料協調査・研究委員会の事務局となっている。当委員会は，公文書館・文書館等に関する諸問題についての調査・研究が主な業務である。それに伴い，「公文書館機能普及セミナー」の企画・運営をおこなう。今年度は鳥取市で11月19日に開催した。
また，防災担当としての務めもある。発生した地震や豪雨が一定の規模を超えた場合は，機関会員を中心に該当地域内の公文書館機能をもつ機関へ連絡を取り，被害の有無や大小についての確認をおこなっている。
- 7 新型コロナウイルス感染拡大に伴う文化の森全館の休館
令和2年4月16日に緊急事態宣言が全国へ拡大されたのを受け，4月22日より5月8日まで文化の森全館を閉館した。